

4/21 ちびっこ消防隊出動

北見地区消防組合消防署置戸支署は、春の火災予防運動の特別行事として、こどもセンターどんぐりの園児による「一日ちびっこ消防士」を実施しました。最初に参加園児一人ひとりに委嘱状が交付され、「防火の誓い」を全員で唱和。その後、園児たちは消防車について実物を見ながら説明を受けたり、防火衣を身にまとっての放水訓練などを行い、火災予防への関心を高めていました。



4/23 月一開催、公民館サロン

手作りの味を持ち寄ってランチタイムを過ごす「公民館サロン」が4月23日、中央公民館で開かれました。この取り組みは、町が進める「食のまちづくり事業」の一環として行われ、今年で3年目を迎えます。この日会場には20品ほどのメニューが並び、参加者はお互いに作り方や調理のコツを教え合うなどして、お昼のひとときを楽しく過ごしていました。次回開催は5月23日の予定です。



5/3 木あそびに夢中

「木あそび展」が5月3日から6日までの4日間、どま工房で開催され、期間中270人が木工体験などを通して、木とのふれあいを楽しみました。「モノづくり広場」に訪れた家族連れなどは、木トンボやペタクタといった木のおもちゃや、草木染め、羊毛を使った小物づくりに挑戦。オリジナル品の完成を目指し、削ったり、磨いたりして、製作作業に没頭していました。



5/8 おけと湖へフカサギを

冬のおけと湖氷上釣りのためのフカサギのふ化準備作業が5月8日、鹿ノ子ダム奥のフカサギふ化放流施設で行われました。町職員など14人は、網走から搬入した1千万粒の受精卵を、木枠にシュロの木の繊維を張った「ふ化盆」と呼ばれる付着器に付着させ、並べて水槽に沈める作業に励みました。卵は2カ月ほどで稚魚となり、自然流化しておけと湖へ直接放流されます。

